

施策番号	施策名	予算額(百万円)	
131	人と地域を支える文化の振興	1,719	
<p>【2010年度の目標】 身近な文化施設の整備や活用が進み、文化活動に親しむ人びとが増加するとともに、質の高い芸術文化を鑑賞する機会が各地域で提供されています。また、それぞれの地域の特色のある文化遺産や歴史的景観の継承、活用が進むことで、地域の文化が住民に親しまれるとともに、県内外との交流が活発に行われています。</p>			
項目	基準年度の状況	1999年度実績	2001年度の目標 (2010年度の目標)
県民文化祭の参加者数	6万7千人	15万6千人	11万4千人 (20万人)
まちかど博物館、 ミュージアムの設立数	94館	197館	114館 (150館)
子どもを主体とした文化 芸術活動公演数(年間)	25回/年	12回/年	34回/年 (52回/年)

#### これまでの取組

県民が文化、自然、歴史にふれ、文化活動や生涯学習の振興に資するため、美術館、博物館において、質の高い企画展を行うとともに、学校週5日制を展望した教育普及事業を実施するとともに、美術館モニター制度を創設し県民の声を積極的に反映するシステムづくりに取り組んだほか、文化会館において芸術性の高い公演やコンサートなどの自主事業を開催してきました。さらに、各地に埋もれがちな歴史的価値のある文化遺産を活用・継承するため「まちかど博物館」の設立などにも取り組んできました。

#### 平成13年度の取組

平成13年度については、インターネット博覧会への出展(ミレニアム俳句～松尾芭蕉の世界～)や全国俳句募集事業の実施により、全国及び世界への情報発信に取り組むほか、俳句を活かしたまちづくり、人づくり事業に取り組み、「俳句のくにづくり」をより一層推進します。

また、2004年に伊賀地域を中心としたイベントを実施するため、「芭蕉生誕360年を契機として行うイベント(仮称)事業」に取り組みます。

さらに、美術館においては、展示・収蔵機能の拡充を行い、多様な美術館教育、情報サービスなどの美術館活動を展開するとともに、博物館においては、貴重な県民の収蔵資料を適切に保護、保全し、多様なニーズに対応するため、PFI方式等の導入の可能性等、博物館整備についての検討を行います。

#### 主な事業

##### 1(新)開館20周年記念事業

(59,581(0)千円)

【(102)美術館事業】[教育委員会]

平成14年度に開館20周年を迎えるにあたり、平成13年度から15年度にかけて記念事業を実施し、美術館の存在を広くアピールするとともに、21世紀にふさわしい美術館運営とサービスを立ち上げていきます。

##### 2 俳句のくに・三重創造事業

(15,125(15,118)千円)

【(501)歴史文化の継承と活用事業】[生活部]

「俳句のくに・三重」創造事業の一環として、俳句を活かしたひとづくりを推進するため、俳句インストラクター派遣事業や俳句指導研修会開催事業等を実施します。

##### 3(新)俳句を活かしたひとづくり事業

(2,600(2,600)千円)

【(501)歴史文化の継承と活用事業】[生活部]

俳句のくにづくり事業の目的である「心豊かな人づくり」の実現に向け、誰もが実際に自分で見る・聞く・触れる・考えるという体験を深めるため、学校あるいは福祉施設等での「俳句創作」を推進します。

4 (新) 芭蕉生誕 360 年を契機として行うイベント(仮称)事業 (9,165 (9,165) 千円)  
地域予算 【(501) 歴史文化の継承と活用事業】[伊賀県民局、生活部]  
芭蕉や伊賀の持つ様々な魅力を全国に向けて情報発信するために、芭蕉生誕 360 年にあ  
たる 2004 年に開催するイベントに向けた取組を行います。

5 新博物館整備事業 (9,172 (9,172) 千円)  
【(502) 博物館事業】[教育委員会]  
新博物館の整備について、総合的判断を行うため、建設、運営等において、PFI 方式の  
導入の可能性等の検討を行います。

主な見直し項目

芭蕉のふるさと伊賀探訪事業は、事業目的達成のため廃止。